
リグレット

林檎。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リグレット

【著者名】

NZマーク

N5336S

【作者名】

林檎。

【あらすじ】

私とピアノと先輩と。

(前書き)

【臆病なつむじゆうと寂しき樂譜の話】

もしも人生に「戻る」ボタンがあるとしたら
私はいつまでここに留まるだらう。

「また来たの？」
大人にはなりたくない。

「怖いの？」
だってこの先には、私の知らない世界がある。

「ダメだよ、進まなくちゃ。」
進んでもきっとまた戻つてきてくれる。

それなら私は「停止」ボタンを押し続ける。

「まだ、変わらないんだね。」

「いるないよ。私の未来。

【臆病なうさぎと寂しい楽譜の話】

ここにちは、少しだけ涼しくなった世界。
相変わらず私のピアノは夏バテ中。
もうそろそろ起きよう。

誰もいない音楽室で一人鼻歌を歌いながら楽譜を開く。
やつぱりまだ少し暑くてピアノはだらけている様子。

そういう私も早速クーラーが恋しい。

それでも思い切って、目を瞑る。

・ · · 3 · · 2 · · 1

＼ · ·

音符が語りだす。

今日ここにこの楽譜が存在している意味を、
そして私が演奏し続ける意味を。

ピアノを弾くその時だけ私はネバーランドに行ける。

現実を断つて希望と夢の世界で歌を歌う。

いつもは気になる洋服の汚れなんて気にしないで、
私らしい私でいられる。

その時だけは。

(後書き)

学校の合間にこいつそり書いてあります。
元々読書は大好きだけど、書いてみるのはこれが初めてでして。
穴だらけの小説ですが、温かく見守つてやってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5336s/>

リグレット

2011年10月8日23時26分発行